

アクシウム 08 およびクロスライド UB ホイール用リアリムの交換

必要なツール

- 1 スポークレンチ
- 1 エアロダイナミックスポーク用スポークレンチ：M40567
- マヴィックテンションメーター 995 643 01 および対応するテンション表示換算表

使用するスポークのリファレンス No. と長さは製品説明のページ (p. 5 ~ 20) に記載されています。

これらのホイールは次の手順で組み立てる必要があります。

- スポークを反フリーホイール側でラジアル組み、フリーホイール側で 2 クロス組みにする
- フリーホイール側では、スロットの外側の溝にトラクションスポークを取り付け、内側の溝にノントラクションスポークを取り付ける必要があります。

スポークにテンションがかかっていない時、フランジスロットとスポークの間には、すき間がある可能性があります。スポークが取り付けられ、引っ張られると、ハブの各パーツは自動的に正しい位置に戻ります。

各スポークにニップルを 3 回転だけねじ込みます。

反フリーホイール側 (短い方のスポーク) から作業を始めます。



バルブの穴を手前にして、スポークをヘッドから、バルブ穴の右の最初の穴に差し込み、1 つおきに穴に差し込みます。



反フリーホイール側でハブのフランジに、各スポークのヘッドをフランジの外側から入れます。



フランジキャップをハブフランジにはめます。

ホイールを裏返し、残りの (長い方の) スポークをリムの残りの穴に入れます。



バルブ穴の右の最初のスポークはノントラクションスポークです。このスポークをハブの内側のフランジに差し込み、これを 4 本目のスポークごとに繰り返します。



バルブ穴の右の 3 番目のスポークはトラクションスポークです。このスポークをハブの外側のフランジに差し込み、これを残りのスポークに繰り返します。



各ニップルを均等に (各スポークでホイールを 1 回転するたびにスポークレンチ 1 回転分) 締めてホイールのテンションを調整し、スポークが外れたり、ハブが損傷したりしないよう注意して、ヘッドが反フリーホイール側のハブの溝に正しく入れられているかをチェックします。



最後に、各製品ページ (p. 5 ~ 20) のスポークテンションに従ってテンションを調整し、ホイールのセンタリングを行います。

クロスライド UB ホイールはセルフロックスポークを使用しています。このスポークの差し込み部分は、ニップルとの摩擦トルクが大きくなるよう、湾曲しています。したがって、ニップルは ABS タイプではありませんが、スレッドロックは不要です。

アクシウム 08 ホイールは ABS ニップルを使用しますが、スレッドロックは不要です。